

トピックス

＜研究開発・その他＞

■ 世界初の透光性セラミックスレンズを開発、実用化

(株)村田製作所が開発した透光性セラミックス「ルミセラ」を用いて、世界で初めて透光性セラミックスレンズを開発。光学ガラスと同等の透過率でありながら屈折率が大幅に高く、強度にも優れているため、カシオではズームレンズの薄型化に適した素材として着目。デジタルカメラ向けに独自の改善や加工を施し、9月発売の「EXILIM CARD”EX-S100」に搭載。ズームレンズの薄型化により、光学ズーム付きデジタルカメラでは世界最小(79cc)を実現しました。



■ 腕時計の新たな用途を拓く「Officaウオッチ」

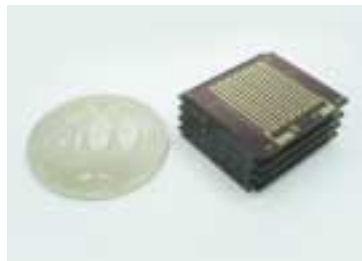
カシオは腕時計にさまざまな機能を載せ、情報端末としての市場開拓を図っています。6月には国内で初めて腕時計に非接触ICチップ「FeliCa」※を内蔵し、(株)ジェーシービー(以下JCB)の決済ソリューション「Offica」に対応。腕をかざすだけで、料金の支払いやオフィスの入退室管理などを可能にしました。現在、JCBの社内にてテスト導入をしており、今後は機能面・運用面での検証を進めた上で、商品開発・実用化を目指してまいります。

※ ソニー(株)が開発した非接触ICカードの技術方式。



■ 燃料電池の開発現況

リチウムイオン充電電池の4倍以上もの長電池寿命を持つ燃料電池。カシオは改質器を用いて純粋な水素を作り出す小型で高効率な「改質型燃料電池」の研究開発をおこなっています。現在、実動作に必要なヒーターなどの全ての部品を含む超小型改質モジュール(写真)を完成させております。基盤材料としてシリコンに代わりガラスを採用し大幅なコストダウンを実現。実用化に向け、さらなる前進を続けてまいります。



TOPICS

■ 「EX-P600」がEISAアワードを受賞

欧州の映像・音響専門誌約50誌が加入する「EISA」によって、欧州で発売された製品群のうち、その年を代表する製品に与えられる「EISAアワード」において「EXILIM」シリーズの最上位モデル「EX-P600」が「ヨーロッパ・デジタルコンパクトカメラ・オブ・ザ・イヤー 2004-2005」を受賞しました。



＜グループ会社情報＞

■ 山形カシオ

基板に電子部品を搭載するチップマウンタの新型機「YCM-8800VX/8000VX」を開発しました。新開発のロータリーヘッドでチップの搭載をさらに高速化することに成功、10月より受注を本格的に開始。11月には中国・深圳にサービスセンターを設置し、海外での拡販に注力します。また世界でもトップレベルの金型・成形一貫生産システムを確立したことにより受注から量産までのリードタイムを同業他社と比較して1/2に短縮することに成功。この生産方式を導入し携帯電話や車載用の精密プラスチック部品の増産にあたりましたが、なお受注を消化しきれず、今期金型工場を増築。今後3年間かけて設備を順次増強しカシオグループ内外への売上を拡大させる予定です。

■ カシオマイクロニクス

2005年3月期の中間期は、パソコン用液晶モニターや携帯電話などの関連部品が大きく伸び、売上高が前年同期比19.5%増の110億円、中間純利益は同122.6%増の6億円となりました。今後もこれらの市場が拡大すると予測し、関連電子部品の増産に向けて体制を整備中。青梅事業所(東京都青梅市)では200ミリウェハーの月産能力を高めるほか、山梨事業所(山梨県中巨摩郡)でも液晶ドライバー実装用フィルム基板の生産能力を来期に向けて増強します。

■ 高知カシオ

TFT液晶ディスプレイの受注が順調に拡大しており、2002年7月から稼働率100%のフル操業を続行中。2004年3月期には年間出荷額が前期比75%増となりました。廃棄物のリサイクルにも注力しており、産業廃棄物の埋め立て処分率を1%以下にする「ゼロエミッション」を達成しています。